

『みんなのおかげ』

愛知県豊橋市立松葉小学校 四年一組 男子 牧野 礼知

ぼくは好ききらいが多くて自分でも困っている。それに、給食できらいな人が多いなっとうやトマトは大好きで、どうしてみんなが好きな物がきらいで反対なんだろうとずっと思っていた。給食でくろうしたのは、牛にゆう、パン、たまご、魚介類。幼稚園は毎日お弁当だったから一年生になって給食が始まる時にはとても心配だった。今、ぼくは四年生だ。給食のイメージがどう変わったのか自分なりに考えてみた。

一年…こわい（こん立て表も見れないくらいだった。二年…チャレンジ（こん立て表の食べれる物に赤丸をつけて、こんなに食べられる物があるんだぞと自分をゆう気づけた。三年…みんなのおかげ（給食がこわくなくなった。ずい分変化したと思う。これまで夏休みのポスターで給食の応ぼには出す気になれなかったのに、今給食について自分の気持ちを書けるのは、やっぱり三年生で牛にゆうが一本全部飲めたからだと思う。

初めての給食の日は小さなおかずしか食べれなかった。帰り道は走って帰って、おなかがすいてもがまんするしかないと思った。しばらくすると給食をがんばった人にはシールをくれると先生が言った。ぼくには、「目標まで飲めたらあげますよ。」と言ってくれた。やっとしールがもらえた日、すぐうれしかった。キラキラのシールを何度も見てがんばってよかったと思った。一年生の連絡帳には「3月23日給食のパン全部と牛にゆうが半分飲むことが出来ました。四月から本当に成長したんだなあと感じました。少しでも自信をもって給食の時間をすごせるようはげましていきます。」と先生が書いてくれた。読み返してうれしくなった。3月23日はぼくの「パン記念日」だった。

二年生の夏休み前には、クラスの子が牛にゆうカレンダーを作ってくれて「家でもがんばってね。」と言ってくれた。がんばろうと思ったけど学校の時のようにはなかなかゆう気が出なかった。

三年になったある日、ぼくはなんだか今日は飲めそうな気がした。いつもよりどんどん飲めた。ぼくの様子に気づいた班の人や後ろの人が応えんしてくれた。でも1人、「礼知むりしなくてもいいよ。」と心配してくれたぼくの友だち。いい友だちだ。ぼくが全部飲んだら、みんながはく手してくれた。三年生の連絡帳には「9月23日牛にゆうが一本全部飲めました。本当によくがんばったなと感動しました。おうちの方がよるこんでいたこともみんなに伝えてよろこびを共有したいと思います。」と書いてあった。9月23日は「牛にゆう記念日」だ。

これまでつらいことやがまんしたこともあったけれど、先生やみんなのおかげでぼくは給食の記念日が出来たと思っている。